

2019年3月9日(土) ヤリイカ 美浜釣舟センター 宝生丸 美浜町早瀬 ツレと
 中潮:旧2月3日 満潮 16:30(24cm) 干潮 22:19(10cm)
 満潮 翌日04:36(27cm) 敦賀港
 ヤリイカ 自分:3杯 ツレ:0杯

13時15分 出発 いなべ市 梅祭りにより渋滞	16時30分 釣り座のくじ
16時10分 現地着 コンビニ 高速 コンビニで酔い止めを飲んだ	18時00分 釣り開始 掛かり釣り
	22時19分 干潮(10cm:敦賀港)
	0時00分 納竿

【ヤリイカ仕掛け】

ツレ用:前回のヤリイカ仕掛けをメンテナンス

ヤリイカ釣りはスルメイカ釣りとは違いラインに痛みはほとんどない。

○幹糸5号枝間1.2m 上糸1.2m 下糸:5号30cm+サルカン+4号90cm
 全長7.2m

ハリス3号3cm~5cm (ハリスの太さは釣果に影響しないとのこと)

○上から、プラヅノ魚型(水色)、ハイブリッド鉤(赤緑)、
 プラヅノ(透明ピンク)、浮きスツテ2.5号赤白、プラヅノ(透明)

自分用:マイカ仕掛けを転用

○幹糸6号枝間1.2m 上糸、捨糸とも1.2m 全長7.2m ハリス3号3cm~5cm

○幹糸:リユース ハリス:一部、新品

○上から、プラヅノ魚型(水色)、浮きスツテ2.5号赤白、
 プラヅノ(透明ピンク)、浮きスツテ2.5号赤緑、プラヅノ魚形(透明)

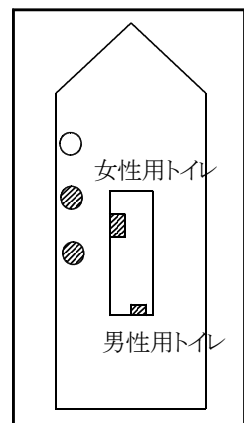
○周りの釣り人がハイブリッド鉤(赤緑)で釣っていたので、これを使うことにした。
 浮きスツテ2.5号赤緑、プラヅノ魚形(透明)でつれていたもので、これは残す。

○上から、プラヅノ魚型(水色)、浮きスツテ2.5号赤緑、プラヅノ(透明ピンク)、ハイブリッド鉤
 (赤緑)、プラヅノ魚形(透明)
 納竿直前にハイブリッド鉤(赤緑)に掛かった。

○おもり 80号 水中ライトなし

○電動リール 自分:ビーストマスター3000XP ツレ:電動丸3000XH

○竿 シマノ LIGHTGAME C14 モデラート 7:3 H225 2.25m 錘負荷30-150号 ツレ用
 シマノ YOIKA BB 7:3 2.25m 錘負荷50-120号 自分用



【料金】

○船代 ¥12,000×2名 (氷付き)

○関ヶ原IC~若狭美浜IC 高速代 往復 ¥1,490(深夜割)

【様子】

- 予想天気図を見て予約した。当日は、満席だった。
- 予約が最後であったようで、くじは最後に引いた。一番くじだった。トイレ近くと考え、左舷、前から2番目3番目に入った。
- 晴れ、初め風が強かったが、だんだん収まっていった。
- 潮の流れも速かった。掛かり釣りだった。(「潮の流れが速かったので、流し釣りではなく、掛かり釣りにした。」と後で聞いた。)
- 右隣の方(左舷のミヨシ)は、持参の竿受けを使って、胴付き仕掛けの2本竿、置き竿で釣っていた。
- 「胴付き仕掛けの人は、おもりは80号。鉛スッテの人は20号。」とアナウンスがあった。
- リールで底まで68mだった。仕掛けの分をたすと水深75mとなる。
- ヤリイカは終日、底である。前回、底から15mのところでも釣れたことから、底で釣れなくなったら、底から15mまでを誘うこととした。
- 潮が速い。左舷の人はいきなり、みんなでお祭り。夕まずめの良い時間帯で釣り上げることはできなかった。後で、船長から、「夕まずめでたくさん釣れる」ということと、「最近、あまり釣れない。イルカがいるのだろうか。」という話を聞いた。竿頭は8杯。夕まずめでいくつか上げたようだ。
- 今日は貧果だった。ボウズの人や1杯だけの人は何人もいた。

【今日のヒット】

- 今日はヒットが4回しかなく、1回ばらしたので、釣果は3杯となった。
- ヒットしたのは次の通り。
 - ① 底で釣れなかったなので、「1~2m巻く、しゃくる、待つ」を底から20m上まで繰り返した後、底まで落とした。(「巻き落とし」を行った。) これにヒットした。
 - ※しゃくる: 竿先を下に向けて、竿先が水平よりやや下になる高さまで、しゃくる。
 - ※待つ: カウント8(8まで数える)
 - ② 底まで一気に落とすと、仕掛けが少し斜めに入る。錘が底をたたかないように、錘を底に落としたまま、糸ふけをほんの少し出したままにしておく。しばらくしてから、錘が底から浮き上がる程度の高さまで素早くリールを巻く。仕掛けが斜めに入っていたことから、錘を浮かせることによって、ほんのわずかだが、仕掛けが横に動く。この時、当たりがあった。
 - ③ 錘を底に落としたまま、糸ふけを1mくらい出したままで待っていた。船が上下することで誘いになる。当たりらしきものがあるので、リールを巻いてみたら、当たりがあった。そのまま電動で巻いた。抱きが甘かったのか、ばれてしまった。
 - ④ 錘を底から1mくらい上げて、錘が底をたたかないようにしていた。しゃくるなどをしていった。しばらく、間があって、底取りをし直した。あたりらしきものがあった。ゆっくりリールを巻いてみたら、はっきりと当たりが出たので、電動で巻いた。先ほど、ばれてしまったので、途中で、合わせを入れた。

【試したこと】

- ①底で釣れなかったなので、「1~7m巻く、しゃくる、待つ(カウント8)」を底から20m上まで繰り返した後、底まで落とした。(「巻き落とし」を行った。)

- 底より上にいないのかを探る。
- 「巻き落とし」のために、イカの視界からスッテ・ツノを消す。
- 速く広く探ることから、仕掛けの長さ分(7mずつ)巻く、仕掛けの長さの半分(3~4mずつ)巻くを繰り返した。これにより、落とすまでの時間を短縮できた。
- 「巻き落とし」ばかりをするのではなく、「底の取り直し」を間に入れるとよい。

② 錘を底につけたまま糸ふけを1mぐらい出して、ふかしておく。

この方法も良い方法だと思う。「錘を底から上げておく。時々、しゃくる。」というパターンだけでは、よくない。

この釣り方は、掛かり釣りだったから、できたのかもしれない。

ウタセ真鯛釣りでも、錘を底から1m上げておくよりも、錘を底につけたまま、糸をふかしておいた方が良く釣れると思う。

根掛かりした。あきらめて、仕掛けを切ろうと道糸を強く引っ張った。外れてきて、すべて無事だった。

ツレも根掛かりした。ツレの仕掛けは、捨て糸の90cmを4号にしていたことから、サルカンから4号の糸が切れており、錘だけをなくすこととなった。捨て糸を4号にしておいて良かった。